

学校防災教育研究拠点

拠点長：久保尊洋

メンバー：鈴木 雅之 高本 真寛 筆保 弘徳 竹之内 健介 木村 昌彦 青木 弘 押味亨 渡邊 売一
中原 幸司 松下 翠利 海野 功子 丸山 健太郎 奥平 直子 水野 琢磨 望月 佐知 佐宗 敏美 貞光 千春

災害に対する心理的備えの充実を目指し、心理学、防災工学、気象学など様々な分野と学校教育の実践家である教師とが協働で行う学校防災教育の新たな形態を構築する。そのために、①災害時の心の健康の変化、②災害弱者のレジリエンス、③防災意識の促進要因を明らかにする。これらの研究知見に基づいた④心の防災教育を開発し、心の健康、レジリエンス、防災意識についての効果検証を行う。



これまでの成果

風水害に対する心理的備えを測定する評価指標の作成

Scientific reportsに投稿中

子どもの風水害に対する心理的備えを測定する評価指標の作成

学校心理学会で発表予定

心理的備えを促進する学校における防災教育の開発と効果検証

9月に鎌倉小で実施
※下記詳細

防災教育の開発と効果検証（附属鎌倉小）

対象者：小学4年生児童99名（33名×3クラス）

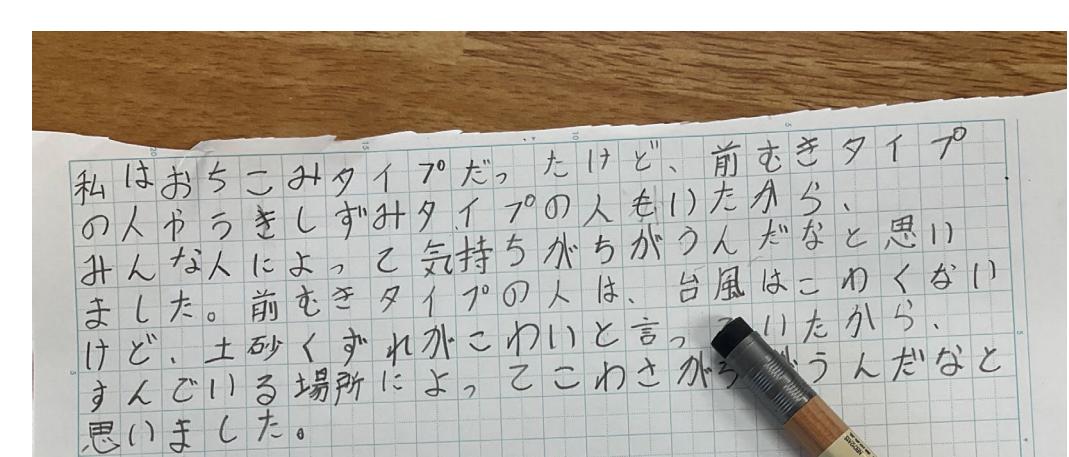
防災教育の内容：

- ・防災教育の授業は、理科と社会の授業で実施
- ・理科の授業では、雨トレを実施
- ・社会の授業では、台風接近時の心とからだへの影響と心理的備えを学ぶ授業を行った
- ・授業後には、授業内容の感想や理解度を訪ねた
- ・教育効果測定は、授業の約1週間前、授業の1週間後に実施

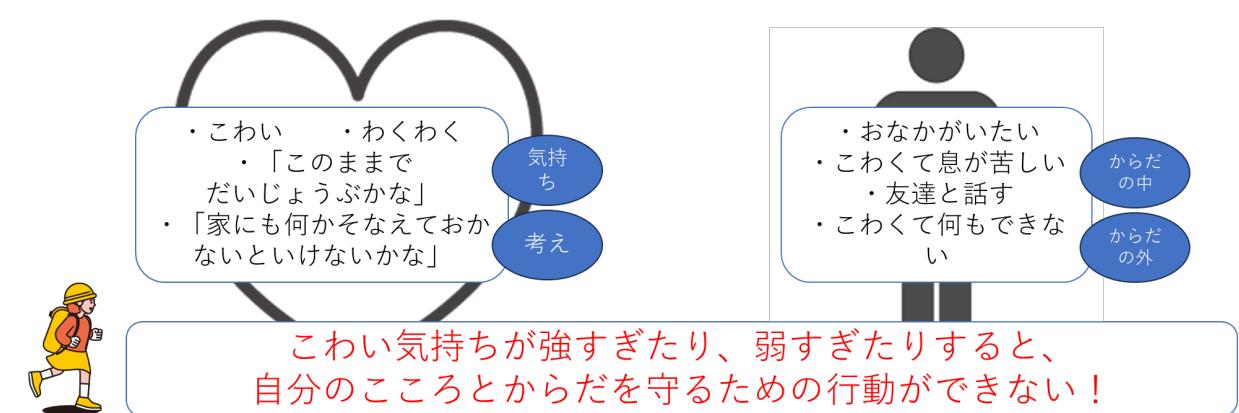
※横浜国立大学人を対象とする非医学系研究倫理専門委員会の承認（非医-2025-44）を得て実施



介入前と介入後の心理的備えの得点を比較すると、平均4.49上昇 ($p<.00, d=.39$)



こわいといけんをすると
落ち着いた行動ができなくなるよ



多様な災害への心理的備えの充実を全国の学校現場をはじめ、世界各国の教育現場に！